

## PMによる研究開発機関の追加及び資金配分の変更について

平成 30 年 3 月 29 日  
革新的研究開発推進プログラム担当室

PM が、新規研究機関の追加を行う場合、また、機関追加後、PM 関係機関 (PM との利害関係機関) に増額をする場合は、事務局においてその必要性等を整理した上で ImPACT 推進会議、ImPACT 有識者会議に承認または確認を求めるところとされているところ。

今回、PM から申し出のあった以下の研究開発機関について、その必要性等が認められることをご報告する。

## 1. PM による研究開発機関の新規追加

下記の 2 名の PM から下記の研究開発機関の追加の申請があり、PM 関係機関に該当する機関がないため、確認を求めるもの。

PM	実施プロジェクト	研究開発機関名	研究代表者名	申請理由
佐野 PM	3H-I5 超小型パワーレーザーの応用	(株)TCK	小坂光二	超小型パワーレーザーの社会実装に向け、病理診断の組織分析の高速化として期待されている CT-SEM の課題である光源に応用するために、CT-SEM の特許実施権を有する当該研究機関を追加する。
山川 PM	脳情報インフラ	東京工業大	梶原将	脳情報活用の社会実装に向け、産学官連携構築のモデルケース作りを秋田県で進める。秋田県での大規模な産学官連携プロジェクトの実績のある当該研究機関を追加する。
山川 PM	脳情報インフラ	理化学研究所	林拓也	脳情報活用の社会実装に向け、脳情報クラウドの構築を加速するため、MRI や PET 等による高解像度脳情報とバイタル情報等の関連情報を蓄積・解析する能力及び実績を有する当該研究機関を追加する。

## 2. PM に関する機関に対する研究資金の配分変更

藤田 PM から下記の研究開発機関の資金配分変更の申請があり、確認を求めるもの。

PM	研究開発機関 (PMとの関係)	研究 開発 責任者	資金配分変更 前→後 (百万円) ※	申請理由
藤田 PM	東芝エネルギーシステ ムズ (PM出向元)	浅野 和仁	59→69 (+10)	ガラス固化体中の高レベル放射性廃棄物の回収技術の開発において、有望な候補技術を選定できた。プラント概念構築のための具体的なプロセス検討に移行するため必要な資金を増額する。
藤田 PM	東芝エネルギーシステ ムズ (PM出向元)	浅野 和仁	77→93 (+16)	高レベル廃液から今回のターゲット核種を分離回収する技術の開発において、有望な候補技術を選定できた。プラント概念構築のための具体的なプロセス検討に移行するため必要な資金を増額する。

※十万円以下は四捨五入している

以 上